



平成 29年 3月 8日

各 位

会 社 名：ダイハツディーゼル株式会社
代表者名：代表取締役社長 木下 茂樹
(コード番号 6023 東証第2部)
問合せ先：管理統括部 水科 隆志
(TEL. 06-6454-2331)

船用補機関用 NOx 対応 SCR システムの初号機受注

当社はこの度、IMO（国際海事機関）のNOx第3次規制に対応する排気ガス後処理装置（選択触媒還元法脱硝装置）「以下、SCR装置」を十数台受注し、今年の秋から順次出荷する予定です。第3次規制は2016年から開始されており、現在では数十件の引き合いも受けています。当社のSCRはスキームA方式（エンジンとSCRを結合した状態でNOx鑑定を受検する）で予め船級認証されたシステムを提供します。

SCR装置ではNOxを分解するための還元剤として尿素水が必要ですが、品質の悪い尿素水を使用するとSCR装置の触媒が詰まるなどの不具合が発生します。当社では、尿素粉末と蒸留水を船内で混ぜ合わせ適正な濃度で高品質の尿素水を生成する装置も販売しております。現状、尿素水は供給インフラが整っておらず高価ですが、尿素粉末の場合は液体の尿素水より入手・運搬が手軽で安価であり、取り扱いも容易です。

また、昨年10月に開催されたMEPC70（第70回海洋環境保護委員会）にて一般海域で使用する燃料の硫黄分濃度を2020年から0.5%以下とする規制が合意されました。本規制は既存船、新造船全てが対象となり、船舶から排出されるSOx成分の削減を目的としています。当社はDuPont™ マリンスクラバーのメーカーでDuPont社（本社：アメリカ デラウェア州）の子会社であるBELCO社（本社：アメリカ ニュージャージー州）と日本国内における独占販売代理店契約を締結しており、現在、SOxスクラバーの引き合い、商談が活発化しております。BELCO社のスクラバーは陸上用で300台以上の出荷実績があり、船用では実船試験においてMARPOL条約附属書VIの排気ガス及び排水基準に適合していることがABS（アメリカ船級協会）により認められています。

以 上